

戸沢村アスリート事業開催！

令和3年11月20日（土）に佐藤和夫氏（バルセロナオリンピックウエイトリフティング競技出場、現宮城県農業高等学校ウエイトリフティング部監督）を招聘し、スポーツに関わる指導者及び保護者の資質向上と子どもたちの体力運動能力の向上を目的とし標記事業が開催されました。

トークショーでは、佐藤氏の指導者としての立場と保護者としての立場から様々なお話をいただき、参加者からも好評を博し、大成功に終了しました。

また、実技指導会の中では自重を使ったトレーニングメニューを12種類紹介していただき、子どもたちも一緒に普段の練習より運動強度の高いメニューに戸惑いながらも普段とは違う環境に楽しみながら参加していました。



大迫力の自衛隊スクールコンサート

11月17日に戸沢学園にて、自衛隊第6音楽隊の皆様によるスクールコンサートが行われました。午前の部（初等部）では、『ボギー大佐』や、大人気アニメの主題歌である『紅蓮華』、ジブリメドレー等が演奏され、大迫力の生演奏に子ども達も目を輝かせて、手拍子をする姿がありました。

最後は皆でアンコール。本格的な演奏会を体験できた貴重な時間となりました。



戸沢学園学校運営協議会

～「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」のために～
戸沢学園学校運営協議会の発案による取り組みが、始動しました。「音楽と読み聞かせのクリスマスの夕べ」「あいさつ運動」「元気づくりスクール」「インボデイを活用した体力向上」。学校と地域が連携して子どもたちを育て、地域づくりにもつなげていきます。



みんなで作る とざわギャラリー

昨年度より、戸沢村の芸術文化活動の推進を目的として「みんなで作る とざわギャラリー」を企画しております。今回も風景写真や水彩画、書道作品など個性あふれる作品が並びました。

今後は、村内の芸術家や水彩画や書道等を趣味にしている方をさらに発掘し、子どもたちを巻き込んでの芸術文化活動の発展や知見拡大へつなげていきたいと考えております。



親子で作ろう！

連合若妻会主催事業 クリスマスオーナメント

12月5日（日）、11組の親子が参加し、プラバンを使って、連合若妻会主催事業のクリスマスオーナメント作りを楽しみました。プラバンに描いたイラストがオーブントースターの中できゅ〜っと小さくちぢむ様子を見て、子どもたちは「おもしろい！」



「家でも作ってみたい！」と大興奮！完成したオーナメントはお家でのクリスマスパーティーを盛り上げてくれたのではないのでしょうか☆

えほんの森&幼児共育ふれあい広場

えほんの森 クリスマススペシャル

12月11日開催☆



今年度最後のえほんの森は、クリスマススペシャル企画！

今回は、おはなしサークルくれよんによる、クリスマス絵本のよみかかせやパネルシアター、マジックショーに、毛糸で作るももこのクリスマスリースの工作、そして、保護者向けの学習資料「やまがた子育て5カ条」に沿った子育てに関する説話も行いました。



8組の親子が参加し、それぞれが少し早めのクリスマスを楽しんでくれたようです☆☆



村民会議幹事研修会の開催

11月5日(金)に戸沢村中央公民館において「花笠ホープ隊」の方を講師に招き、村民会議幹事研修会を行いました。「花笠ホープ隊」の皆様は、知的障がいや発達障害の疑似体験を通して障がいについて広く理解してもらう活動を行っています。当日は、花笠ホープ隊の活動の様子を伝えていただいた後、障がい者の疑似体験を行いました。言葉を絵で伝えることや、障がい者の物の見方の違いや、手が不自由な中での工作作業など様々な体験をしました。村民会議幹事の方からは、「今まで、障がいとひとくくりで考えていた部分があったが、様々な障がいの種類があり、体験を通して障がいについて、理解することができた」と感想がありました。今後も青少年活動の中で障害のある人との活動が増えていくと思います。今回の研修会を通して、少しでも障がいについて、理解できた



ちょっといっぷく

いじめの会議で、子どものいじめの背景に、大人の偏見があるということが指摘されました。子どもは、社会を写すか鏡と言われますが、無意識のうちにそのような行為や言動が子どもの前で行われていることも事実だろうと思います。インクルーシブな社会の実現を目指しているわけですから、私たち自身がその姿勢を見せていくことの大切さを改めて感じました。

～あとがき～

12月3日に「クリスマスの夕べ」が行われました。学園に住民の方々をお招きした初のイベントです。学園の先生方の素晴らしい歌とピアノ。「くれよんさん」の読み聞かせ、学校運営協議会委員・中ボラのディスプレイ等々。学校を中心とした地域づくりが形になったイベントとなりました。このイベントを通して得た宝物があります。それは、「先を予測する目」「知恵と工夫」「あきらめない心」です。これからも、三つの宝を生かした活動を展開していきます。よい新年をお迎えください。

保小一貫教育の推進～職員交流の実施～

保小一貫教育の推進として、保育所と初等部の先生が交代し、実際の子どもの姿や指導の様子を参観し合いました。保育所の「遊びを通した学び」の様子、小学校の「数や文字を用いる教科学習」の様子を見ることで、相互理解が一歩深まりました。今後も、子どもの成長のため、相互交流を大切にし、保小の滑らかな接続を目指します。

